

円サポート

追加型投信／内外／債券

交付運用報告書

第91期（決算日2018年9月10日） 第92期（決算日2018年10月10日） 第93期（決算日2018年11月12日）
第94期（決算日2018年12月10日） 第95期（決算日2019年1月10日） 第96期（決算日2019年2月12日）

作成対象期間（2018年8月11日～2019年2月12日）

第96期末（2019年2月12日）	
基準価額	9,011円
純資産総額	2,792百万円
第91期～第96期	
騰落率	1.0%
分配金（税込み）合計	150円

(注) 騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「円サポート」は、2019年2月12日に第96期の決算を行ないました。

当ファンドは、日本および世界の高格付け国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってきました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

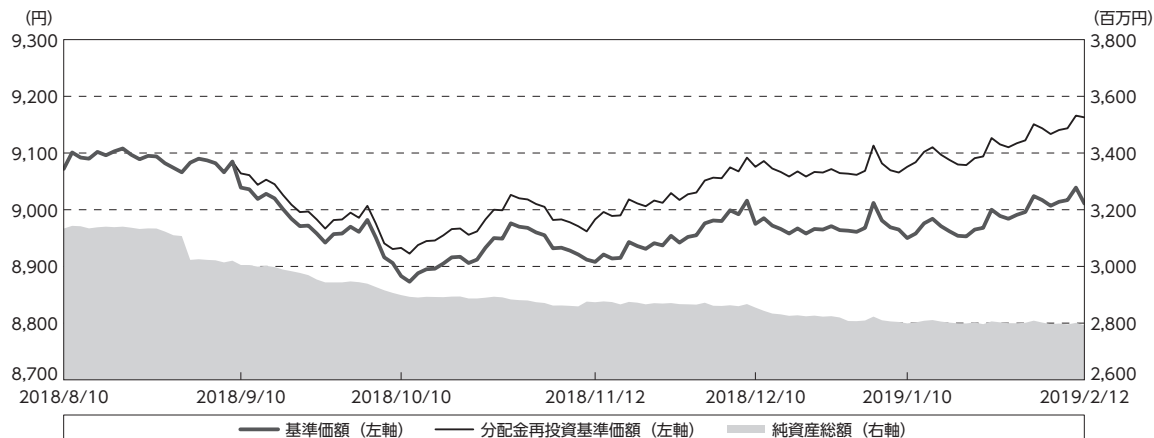
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年8月11日～2019年2月12日)



第91期首：9,072円

第96期末：9,011円 (既払分配金 (税込み)：150円)

騰落率：1.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2018年8月10日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、日本および世界の高格付け国の債券に実質的に投資を行なうとともに、外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。
- ・投資対象各国の国債利回りが総じて低下 (債券価格は上昇) したこと。

<値下がり要因>

- ・為替ヘッジに伴う費用を支払ったこと。

1万口当たりの費用明細

(2018年8月11日～2019年2月12日)

項 目	第91期～第96期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 34	% 0.374	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(15)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(17)	(0.193)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(1)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数
(先物・オプション)	(0)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	4	0.044	(c) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用)	(3)	(0.035)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	38	0.421	
作成期間の平均基準価額は、8,991円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

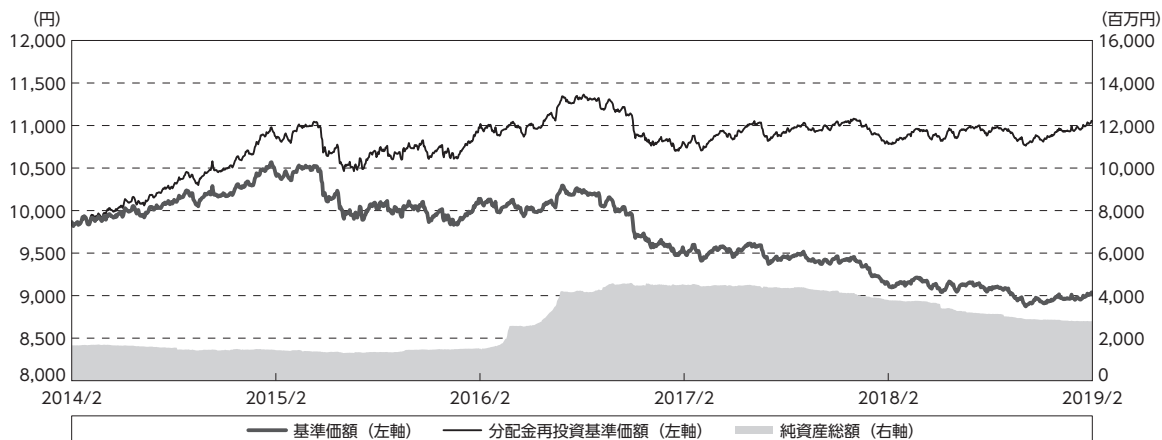
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年2月10日～2019年2月12日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2014年2月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年2月10日 決算日	2015年2月10日 決算日	2016年2月10日 決算日	2017年2月10日 決算日	2018年2月13日 決算日	2019年2月12日 決算日
基準価額 (円)	9,866	10,428	10,095	9,530	9,105	9,011
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	420	420	420	420	310
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.2	0.9	△ 1.5	△ 0.1	2.4
純資産総額 (百万円)	1,667	1,435	1,499	4,517	3,778	2,792

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2018年8月11日～2019年2月12日)

(債券市況)

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りが期間の初めと比べて総じて低下しました。

期間の初めから2018年10月上旬にかけては、米国とトルコの関係悪化などを背景としたトルコリラの急落が新興国市場にも波及し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから利回りが低下する局面があったものの、英国の欧州連合（EU）離脱交渉の進展について楽観的な報道があったことや、欧州中央銀行（ECB）総裁がユーロ圏の基調的なインフレ率には上昇が見込まれるとの見解を示したこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言や堅調な内容の米国経済指標を受けて利上げが継続するとの見方が広がったことなどから、各国の10年国債利回りは総じて上昇（債券価格は下落）しました。10月中旬から期間末にかけては、イタリアの予算案を巡るイタリアとEUの対立などから、ドイツなどの高格付け国債の需要が高まったことや、世界的な景気鈍化への警戒感などから主要国の株式市場が軟調となり投資家のリスク回避の動きが強まったこと、FRBが今後の利上げに慎重な姿勢を示したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年8月11日～2019年2月12日)

(当ファンド)

当ファンドは、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド)

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。

期間の初めは、ベルギー、フランス、スウェーデン、アメリカ、イギリスの5カ国へ投資を行ないました。2018年9月上旬に堅調な景気拡大を示す米国の経済指標を材料に米国長期金利が上昇したことから、段階的にアメリカの投資比率を拡大しましたが、10月には米国短期金利の上昇により為替ヘッジ後の投資妙味が減退したと判断したことや、相対的にユーロ圏やイギリスの景気減速感が強まりつつあることを踏まえて、アメリカの投資比率を縮小し、その他の投資国の投資比率を全般的に拡大しました。11月には、相対的にユーロ圏の景気減速感が強まりつつあることを考慮し、アメリカの投資比率を若干縮小し、フランスおよびベルギーの投資比率を拡大しました。2019年1月には、ユーロ圏の景気減速基調が強まるなか、フランスおよびベルギーの投資比率を拡大し、イギリスを中心に投資比率を若干縮小しました。

デュレーション（金利感応度）については、2018年8月中旬には、トルコからの資本流出懸念から市場センチメントが悪化し、アメリカを中心に債券利回りが低下したことから、アメリカを中心に全体のデュレーションを短期化しました。9月上旬には、堅調な景気拡大を示す米国の経済指標を材料に米国金利が上昇したことから、段階的にアメリカを中心にデュレーションを長期化しました。10月以降は、ポートフォリオ全体のデュレーションを安定的に推移させました。

その結果、期間末時点での投資対象国は、ベルギー、フランス、スウェーデン、イギリス、アメリカの5カ国となりました。

また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年8月11日～2019年2月12日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2018年8月11日～2019年2月12日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2018年8月11日 ～2018年9月10日	2018年9月11日 ～2018年10月10日	2018年10月11日 ～2018年11月12日	2018年11月13日 ～2018年12月10日	2018年12月11日 ～2019年1月10日	2019年1月11日 ～2019年2月12日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.276%	0.281%	0.280%	0.278%	0.279%	0.277%
当期の収益	10	10	14	12	8	14
当期の収益以外	14	14	10	12	16	10
翌期繰越分配対象額	346	332	321	309	292	282

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(ソブリン(円ヘッジ)マザーファンド)

引き続き、現在投資を行なっている5カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

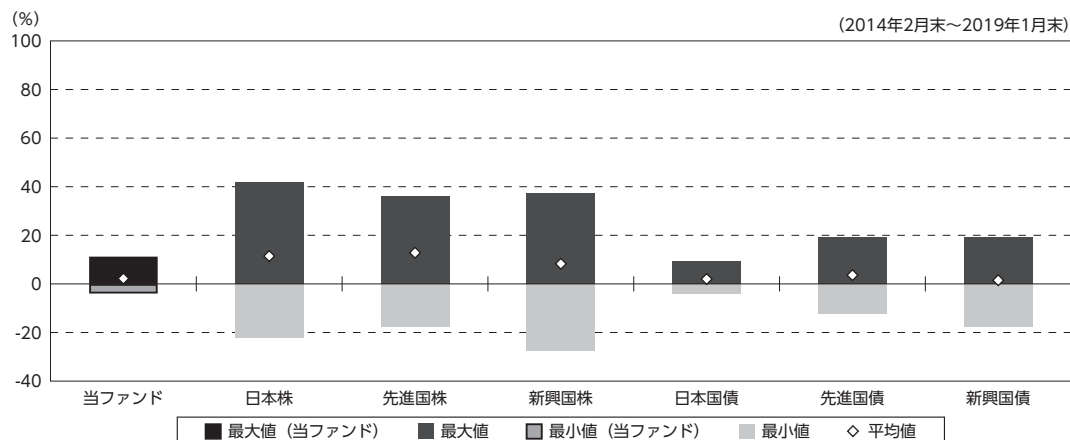
2018年8月11日から2019年2月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2011年2月28日から2021年2月10日までです。	
運用方針	主として「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	円サポート	「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	内外のソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、政府機関債、国際機関債等をいいます。）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本および世界の高格付の国の債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。原則として、信用力の高い国の国債などに投資を行ない、信用リスクの低減を図ります。海外の債券については、原則として、買付時においてA A格相当以上の格付が付与されている国に投資します。外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。	
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	11.2	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△4.0	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	2.2	11.5	12.8	8.3	2.0	3.6	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年2月から2019年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: 東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株: MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年2月12日現在)

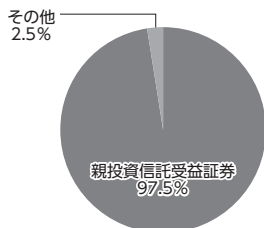
○組入上位ファンド

銘柄名	第96期末
ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド	97.5%
組入銘柄数	1銘柄

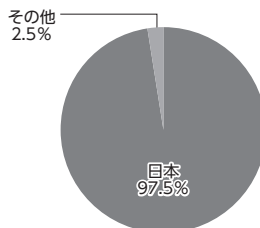
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

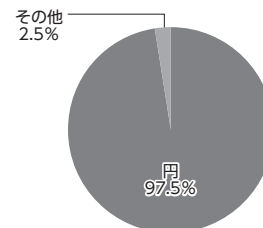
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末	第96期末
	2018年9月10日	2018年10月10日	2018年11月12日	2018年12月10日	2019年1月10日	2019年2月12日
純資産総額	3,005,039,722円	2,898,882,687円	2,873,735,119円	2,854,853,116円	2,799,105,716円	2,792,286,333円
受益権総口数	3,324,704,774口	3,263,309,365口	3,226,099,546口	3,180,969,799口	3,127,604,146口	3,098,881,334口
1万口当たり基準価額	9,039円	8,883円	8,908円	8,975円	8,950円	9,011円

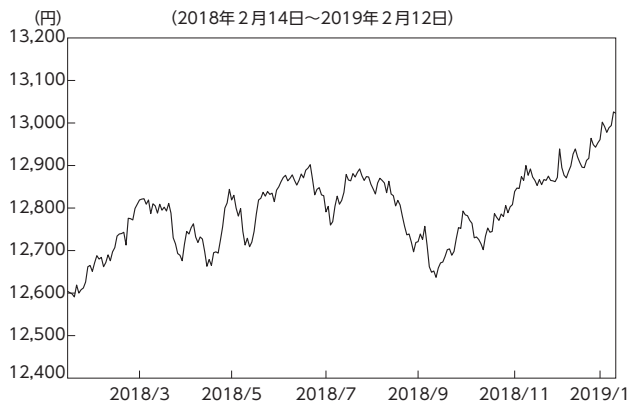
(注) 当作成期間(第91期～第96期)中における追加設定元本額は62,135,049円、同解約元本額は417,156,818円です。

組入上位ファンドの概要

ソブリン (円ヘッジ) マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年2月14日～2019年2月12日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年2月14日～2019年2月12日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.007 (0.007)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
合計	3	0.020

期中の平均基準価額は、12,806円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年2月12日現在)

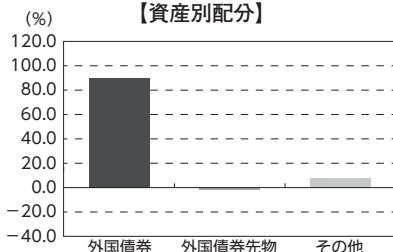
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	BELGIUM KINGDOM 4.5% 2026/3/28	国債証券	ユーロ	ベルギー	10.6
2	BELGIUM KINGDOM 0.8% 2028/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	7.9
3	FRANCE (GOVT OF) 2.75% 2027/10/25	国債証券	ユーロ	フランス	5.8
4	BELGIUM KINGDOM 5.5% 2028/3/28	国債証券	ユーロ	ベルギー	5.0
5	FRANCE (GOVT OF) 0.75% 2028/5/25	国債証券	ユーロ	フランス	4.9
6	EUROPEAN INVESTMENT BANK 3.75% 2032/6/1	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	4.5
7	FRANCE (GOVT OF) 0.75% 2028/11/25	国債証券	ユーロ	フランス	4.1
8	UK TREASURY 4.25% 2027/12/7	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.9
9	FRANCE (GOVT OF) 3.5% 2026/4/25	国債証券	ユーロ	フランス	3.8
10	EUROPEAN INVESTMENT BANK 1.75% 2026/11/12	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	3.8
	組入銘柄数			38銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

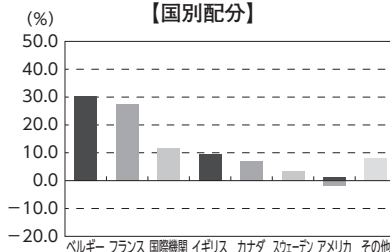
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

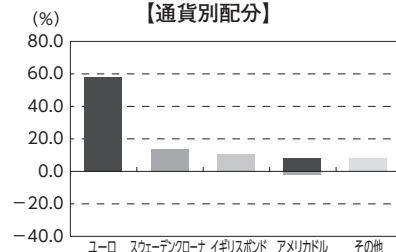
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。